令和8年度　全国学力・学習状況調査

学力・学習状況調査の結果概要

富田林市教育委員会

議案第25号

（１）調査の目的
　義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
（２）対象学年
　〈小学校第６学年　市内１６校　〉〈中学校第３学年　市内８校　〉
（３）調査内容
　①教科に関する調査
　　・小学校【国語・算数】　中学校【国語・数学・英語】
　②質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）
（４）実施日　令和８年４月２３日（木）
　※英語（聞くこと・読むこと・書くこと）は4/20～23の期間内で実施

【今年度調査の特徴】
※今年度の教科に関する調査は、国語・算数・数学・中学校英語を実施
※中学校英語は、CBT・IRT方式により実施【オンラインによる実施（ComputerBasedTesting）】
　結果は、IRTスコアで提示
　IRT→児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかコンピューターが区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論（反応項目理論）

学力調査結果

平均正答率(%)

小学校

	富田林市	大阪府	全国
国語	57	59	60.9
算数	54	56	56.4

中学校

	富田林市	大阪府	全国
国語	61	61	63.9
数学	55	55	57

無解答率(%)

小学校

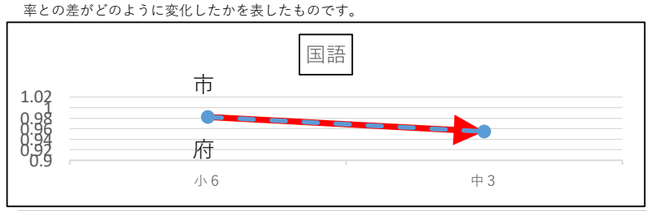
	富田林市	大阪府	全国
国語	2.7	3.2	3.4
算数	2.2	3.1	3.2

中学校

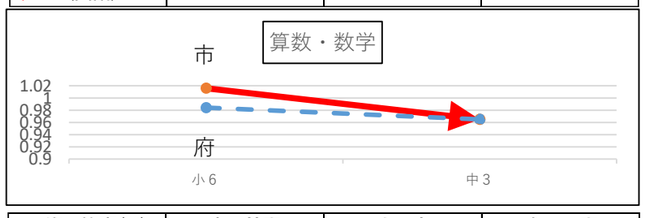
	富田林市	大阪府	全国
国語	5.3	5.8	4.9
数学	11.7	12.3	10.4

小６から中３にかけて

下のグラフは、本年度の中学校３年生について、令和５年度に小学校６年生で実施した全国学力・学習状況調査の結果と、本年度の調査結果を比較し、富田林市の平均正答率と全国公立の平均正答率との差がどのように変化したかを表したものです。



平均正答率(%)	富田林市	大阪府	全国公立
●R5（国語）	66	66	67.2
◆R8（国語）	**61**	**61**	**63.9**



平均正答率(%)	富田林市	大阪府	全国公立
●R5（算数）	64	62	63
◆R8（数学）	**55**	**55**	**57**

各教科の状況

○・・・全国平均を顕著に上回った内容　　△・・・全国平均を顕著に下回った内容　　※〔　〕内は問題番号

平均正答率(%)

	領域	富田林市	大阪府	全国
小学校国語	話すこと・聞くこと	60.3	63.9	65.8
	書くこと	39.8	43.8	45.7
	読むこと	65.2	65.3	65.9
	言語の特徴・使い方	64.7	64.4	66.8

小学校国語･･･「言語の特徴・使い方」の領域で全国を下回っているものの、大阪府は上回っている。
○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるか。〔３三（２）〕
△筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるか。〔２一〕
　→相手や目的に応じて、伝えたい内容を整理し、文章全体の構成を考えて『書く』指導を充実させる。また、自分の考えを理由や根拠に基づいて表現する活動を取り入れ、文章全体の構成や展開を考えて書く力の育成が重要である。

	領域	富田林市	大阪府	全国
小学校算数	数と計算	59.0	61.1	61.1
	図形	50.2	54.2	55.3
	測定	75.4	77.6	78.1
	変化と関係	39.8	40.6	41.1
	データの活用	46.4	48.0	48.6

小学校算数･･･「変化と関係」の領域で全国を下回っているものの、大阪府に迫っている。
○小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができるか。〔３（１）〕
△示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるか。〔４（１）〕
　→複数の表やグラフから必要な情報を読み取り、関連付けて考える学習活動を充実させる。また、日常生活の場面と算数の学習を結び付けた問題解決を取り入れ、算数を生活の中で活用する意識を高めることが大切である。

	領域	富田林市	大阪府	全国
中学校国語	話すこと・聞くこと	58.1	60.2	63.9
	書くこと	66.8	64.5	67.4
	読むこと	58.1	56.8	59.7
	言語の特徴・使い方	61.8	60.4	63.0

中学校国語･･･「書くこと」「読むこと」「言語の特徴・使い方」の領域で大阪府を上回っている。
○表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことができるか〔３四〕
△情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができるか。〔２三〕
　→複数の情報を比較・整理し、要約する学習活動を充実させるとともに、対話を通して情報と情報との関係を捉え、自分の考えを根拠に基づいて論理的に構成する指導を推進することで、学んだことを実際の場面で活用する力を育成する。

	領域	富田林市	大阪府	全国
中学校数学	数と式	66.9	65.6	67.8
	図形	46.3	48.0	48.7
	関数	52.5	52.8	54.8
	データの活用	49.9	49.7	53.5

中学校数学････全国に及ばないものの、「数と式」「データの活用」の領域で大阪府を上回っている。
○事柄が成り立つ理由を文字を使って説明するための方針を立てることができるか。〔６（２）〕
△筋道を立てて考え、証明することができるか。〔８（２）〕
　→筋道を立てて考え、図形の性質を根拠に基づいて説明・証明する活動を充実させる。また、文字や式などの数学的な表現を用いて、事柄が成り立つ理由を記述する学習活動を推進し、論理的に説明する力の育成を図る。

	IRTスコア集計値	富田林市	大阪府	全国
中学校英語	平均IRTスコア	500	498	499
	平均正答数			
	聞くこと・読むこと・書くこと	3.7問/７問	3.7問/７問	3.7問/７問
	話すこと	0.６問/２問	0.６問/２問	0.7問/２問

中学校英語･･･ＩＲＴスコアで全国を上回るが、「書くこと」には課題がみられる。
○日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるか。〔読むこと（８）〕
△音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているか。〔書くこと　１１②〕
　→短い英文を繰り返し読む活動を通して、要点や概要を捉える力を育成する。また、読んだ内容を自分の言葉で書いてまとめる活動を取り入れ、「読むこと・書くこと」の学習を充実させ、実際の場面で活用できる技能を身に着けることが必要である。